

荻本孝久／論文リスト

■2005年度

<研究論文 II>

T. Enomoto et al. "Simplified Quick Estimation System About Distribution of Seismic Intensity and Building Damage for Seismic Risk Management", Proc. of International Conference on 250th Anniversary of the 1755 Lisbon Earthquake, pp. 257-264, Oct. 2005

<口頭発表>

山本俊雄、荻本孝久、「高密度常時微動観測による足柄平野南部の表層地盤振動特性の検討」第15回地域安全学会研究発表会、pp. 143-146、2004年11月

大関千恵、山本俊雄、荻本孝久、「大都市大震災の復旧・復興を考慮した防災計画に関する研究」、第15回地域安全学会研究発表会、pp. 53-56、2004年11月

荻本孝久、山本俊雄、「自然災害種別を考慮した地域防災ポテンシャル評価指標に関する研究」、第15回地域安全学会研究発表会、pp. 57-58、2004年11月

山本俊雄、荻本孝久、「ウェブ上で公開された防災ツールのデータベース化とその共有化に関する分析」、第16回地域安全学会研究発表会、pp. 27-30、2005年5月

荻本孝久、山本俊雄、今成雄一郎、「阪神・淡路大震災における市街地の復旧・復興プロセスに関する要因分析」、第16回地域安全学会研究発表会、pp. 69-72、2005年5月

荻本孝久他、「2004年 Al Hoceima, Morocco (Mw=6.5)地震における被害調査—建物被害の概要と地盤震動—」、日本建築学会学術講演会梗概集、pp. 227-228、2005年9月

荻本孝久他、「地盤関連情報データベースの管理と活用技術に関する研究」、日本建築学会学術講演会梗概集、pp. 213-214、2005年9月

荻本孝久他、「PS 検層と微動アレー観測による1995年新潟県北部地震の震源域・福島潟周辺の1地点における表層地下構造」、日本建築学会学術講演会梗概集、pp. 219-220、2005年9月

荻本孝久他、「SPAC法を用いた微動アレー観測による地盤構造の検討」、日本建築学会学術講演会梗概集、pp. 259-260、2005年9月